

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 青少年健全育成の推進
 基本事業 青少年健全育成活動の充実

事業名 **子ども会育成事業**

[0462]

部名	教育部	事業開始年度	昭和36年度	実施計画事業認定	対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市子ども会育成連絡協議会(江別、野幌、大麻・文京台地区子ども会)</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) ・地域の異年齢の子ども同士による自然体験活動、スポーツや文化活動等、豊かな体験の充実を図る外、普及活動や研修活動、関係機関、団体との連携のもと多くの活動を行う ・学校完全週5日制に伴う地域、家庭、学校の連携をより強固にし子どもたちのゆとりある生活を目指し、積極的に推進するとともに、その活動母体として地域に根ざした事業の円滑な推進を支援する。 ・「こいのぼり」を媒体に、親子のふれあいや市民相互の交流、ふるさと意識の醸成、地域文化の創造・発信の目的継承のため「こいのぼりフェスティバル」を子ども会育成連絡協議会事務局が受け持って支援する。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 青少年の健全育成を図ることを目的とした各地区子ども会に多くの大人が参加し、活動が活発化する。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	878	878	878	878
活動指標2						
成果指標1	子ども会活動への地域住民(大人)参加のべ数	人	332	343	372	330
成果指標2	子ども会活動の取り組み数	件	36	39	36	40
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	878	878	878	878
正職員人件費(B)		千円	2,418	2,408	2,405	2,417
総事業費(A)+(B)		千円	3,296	3,286	3,283	3,295

費用内訳	
24年度	負担金 補助及び交付金 878千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	少子化や地域社会のつながりが希薄化してきており、地域のなかでの子ども会活動の役割が高まっている。 平成18年度より、いのぼりフェスティバル実行委員会会長と事務局を担当する。
--------	--	-------------	---

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

各地域及び各地区連合事業は毎年行われており、他に類似のサービスはなく妥当な事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

子どもの健全育成、行政と地域の連携強化のために十分に貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

3地区の子ども会活動の連携が図られ、全市的な取り組みの事業を実施している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

地域における活動支援の連携強化のあり方と役割の再構築が必要である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

研修の充実による人材の育成、実践的な活動に対する重点的な支援に力点を置き実施しているが、地域組織を維持するための経常的な支援を見直すまでには至っていない。